

詳細はHPで
ご確認ください

ご注意

令和4年度後期の授業は、対面授業を予定しますが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮して、オンラインでの遠隔授業に変更する場合があります。
(オンラインによる遠隔授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は各自でご準備下さい)

【大学院ご案内】

大学院科目等履修生は大学卒業の方が対象です。1科目につき1単位が取得できます。費用は1単位あたり14,400円です。(検定料5,000円と入学金10,000円が別途必要です。)

【学部ご案内】

学部開放科目は18才以上の方でしたら、どなたでも受講していただけます。(高校1年～3年生は、『大学授業の公開制度』を利用できます。詳細は、和歌山大学のホームページをご確認ください。募集期間は別途設定されておりますのでご注意ください。)単位認定や試験はありません。お気軽に受講ください。週末中心の授業で働きながらでも学びやすくなっています。費用は1科目あたり11,000円です。(令和4年度前期申請より登録料制度は廃止します)

オンライン決済を導入しました！ 学部開放科目の聴講料のみATMやネットバンキングから振り込めるようになりました。



大学院科目等履修生募集科目
【各若干名募集/教室定員10名】
開講時間：原則土曜日



学部開放授業受講生募集科目
【各15～30名程度募集/先着】
開講時間：原則土曜日

アグリビジネス論(大学院)

農業関連産業とも呼ばれているアグリビジネスは、わが国経済のみならず世界経済においても大きな位置を占め、経済発展・成長に重要な影響を与えている。また、食料問題や環境問題などとも深くかかわっている。本授業では、グローバルとローカルの両視点から日本及び世界的アグリビジネスの現状・問題点・課題等について総合的に学習する。取り上げる内容は、家族農業経営、企業の農業参入、フードテックなどである。

■担当教員：岸上光克
■日程：10月1日(土)、29日(土)、1月21日(土)

経済思想史(大学院)

過去の経済学者たちは、彼らが生きた時代の問題と格闘してきました。それらの問題の中には経済活動は倫理的に正しいかと疑問に考えられたこと、格差が拡大していること、そもそもの見方が間違っている可能性のあること、などさまざまなものがありました。それらの格闘の結果として現在の経済学があります。しかし問題が解決したといえるのでしょうか。残念ながら解決できていないように思えます。「新しい資本主義」の考え方の中には過去の問題が沢山含まれているからです。何故解決できていないのかを考えてみたいと思います。

■担当教員：阿部秀二郎
■日程：10月8日(土)、15日(土)、22日(土)

公益事業論(大学院)

本講義では、官と民の役割分担等の観点から新しい時代の公益事業の在り方について考察・検討します。特に、エネルギー分野においては、再生可能でクリーンな自然エネルギーが注目を集めていることを鑑み、地方都市独自のエネルギー産業に着目します。持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取り組み等を検討しながら、現代における公益事業の存在意義やポテンシャルを議論します。上記を学ぶ中で、現代の公益事業を取り巻く様々な課題等を理解し、その課題解決に向けた糸口を導き出す能力を身に付けることが学習目標です。

■担当教員：上野美咲
■日程：11月5日(土)、19日(土)、26日(土)

暮らしと法律(学部)

痴漢えん罪事件を取り上げた「それでもボクはやってない」という映画や、堺雅人・新垣結衣主演の「リーガル・ハイ」、天海祐希主演の「離婚弁護士」などのテレビドラマ、NHKの法律関係の特集番組、裁判所が制作したDVDなどを視聴してもらい、高齢化社会と成年後見制度に関する法律問題・消費生活において悪徳業者が暗躍する問題・医療事故や公害に関連する損害賠償・家族生活における種々の法律問題(離婚や遺産分割に関連するものが典型例です)などに一般社会人として対応できるような知識を修得してもらうことが目的です。

■担当教員：吉田雅章
■日程：10月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)、11月5日(土)

「旅人」の哲学(学部)

人は生まれた以上、誰もが老い、病み、死んでいかざるをえません。それは人にとって、いわゆる「生きとし生けるもの」の定めではありますが、その定めを、これまで日本人は数多くの文学作品の中で、はなはだ印象的な、魅力的な「旅人」(Homo Viator)の姿を通じて表現してきました。この授業では、このようにして昔から今に至るまで、さまざまな形で日本人が遺してきた、旅の古典(classics=最高級)を振り返り、それらの名作を鑑賞しながら、そもそも日本人にとって「旅」とは何であったのかを、皆さんと共に考え直すことが叶いましたら幸いです。

■担当教員：天野雅郎
■日程：10月22日(土)、11月12日(土)、26日(土)、12月10日(土)、24日(土)、1月14日(土)

現代中国経済(大学院)

本講義では、指定教科書2点をベースに、中国を考察の対象とし、まずは40余年の改革開放をふりかえり、つぎに近年の米中経済摩擦およびコロナ禍を経験しての現在の中国経済を位置づけ、さらに第14次5か年計画(2021～2025年)と今秋開催の中国共産党第20回全国大会および12月開催の中央経済工作会議から、中国の国内産業構造と対外経済関係の今後の方向性と問題点を考察・検討していきます。

■担当教員：金澤孝彰
■日程：12月17日(土)、24日(土)、1月7日(土)



和歌山大学 南紀熊野サテライトとは？

『和歌山大学南紀熊野サテライト』は和歌山大学が和歌山県と連携して田辺市の和歌山県立情報交流センターBig・U(ビッグユー)内に開設しています。南紀熊野地域の活性化・文化向上を目的とし大学の保有する高等教育機能を活用して、地域のニーズにあった諸種の高等教育及び生涯学習・地域連携事業、大学の地域での教育・研究活動の推進や地域での報告会、研究会の開催など地域の知の拠点として活動しています。

地域と考える
地域と共に学ぶ!

和歌山大学南紀熊野サテライト 連携協議会とは？

南紀熊野地域の活性化・文化向上のため、和歌山大学南紀熊野サテライトが地域のニーズに応え充実した高等教育サービスを提供できるよう、運営支援する、和歌山県と地元自治体11市町村や関係団体による協議会です。

南紀熊野サテライトと連携組織



和歌山大学南紀熊野サテライト

【学内組織】
和歌山大学の総合出先機関として高等教育、地域での教育研究、生涯学習、人材育成の拠点

和歌山大学南紀熊野サテライト連携協議会

【地元組織】
和歌山県が事務局となり地元の市町村・商工会議所が参画。高等教育事業への支援

きのくに活性化センター

【地元組織】
地元の自治体、商工会議所、JA、大学等が協働して設置した地域シンクタンク。主に地域振興等の事業で連携

連携

活動内容

1. 高等教育・生涯学習・高校連携

高等教育

紀南地域の田辺市、新宮市、他で和歌山大学の授業や講座が受けられます。

- 授業概要
- ※令和4年度後期は、対面授業を予定しますが、場合によりオンラインによる遠隔授業で実施します。
 - 地域課題やフィールドワーク型の授業も展開しています。
 - 地域のキーパーソンの方もゲストスピーカーで登壇します。
 - 定員は大学院科目が若干名(教室定員10名)、学部科目が各30名です。
 - 大学院は、社会人特別選抜試験を経て「修士(経済学)」の取得が可能です。



○最近開講された科目

- (大学院)
「異文化コミュニケーション」「マクロ経済学」など
(学部)
「熊野郷土学2D」「コロナ後の世界に暮らす」など

生涯学習リカレント教育

県・市町村教育委員会との協働事業へ参画・相談できるネットワークづくり、人づくりを行っています。

「公開講座の実施」
地域づくり・地域課題解決をテーマとする公開講座やサイエンスカフェを実施しています。

高校連携

和歌山大学の各種入試情報の発信や募集要項冊子の配架を行っています。また、高校生の方にも、和歌山大学南紀熊野サテライト(田辺市所在)の授業を受講体験していただける学部開放授業も開催しています。

その他、高校生や若い世代の方にもお茶を楽しみながら気軽にご参加いただけるサイエンスカフェも開催しています。

2. 地域研究・地域創造支援



「地域研究の推進」
「地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業」実施や学生・教員の各種の地域での共同研究の支援や連携先の紹介など地域拠点として活用されています。

「人材育成事業を実施」
地域研究や地域課題解決を自立的に考える人材育成事業を実施しています。

例：過疎地域の生活交通やジオツーリズムに関する調査研究実践の支援

3. 地域連携・産官学連携

「南紀熊野観光塾」
紀南地域での持続可能な地域経営を担う中核人材の育成を目的として実施。その他、自治体などと連携した研修や企画事業を行っています。

「きのくに活性化センターとの連携」
(今までの活動事例)
まちづくり実践、計画策定、調査研究事業などを実施
田辺広域産業振興ビジョン、田辺市観光ビジョン、中心市街地活性化事業 など

「地域づくりへの参画・NPO連携」
地域の企業、NPO団体との連携など



※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月5日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。

お問い合わせ先：和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9 和歌山県立情報交流センター Big・U 102号室
TEL.0739-23-3977 FAX.0739-23-3978 ■開室時間 10:00～17:00(日曜・月曜・祝日休み)
ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>
メール nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

